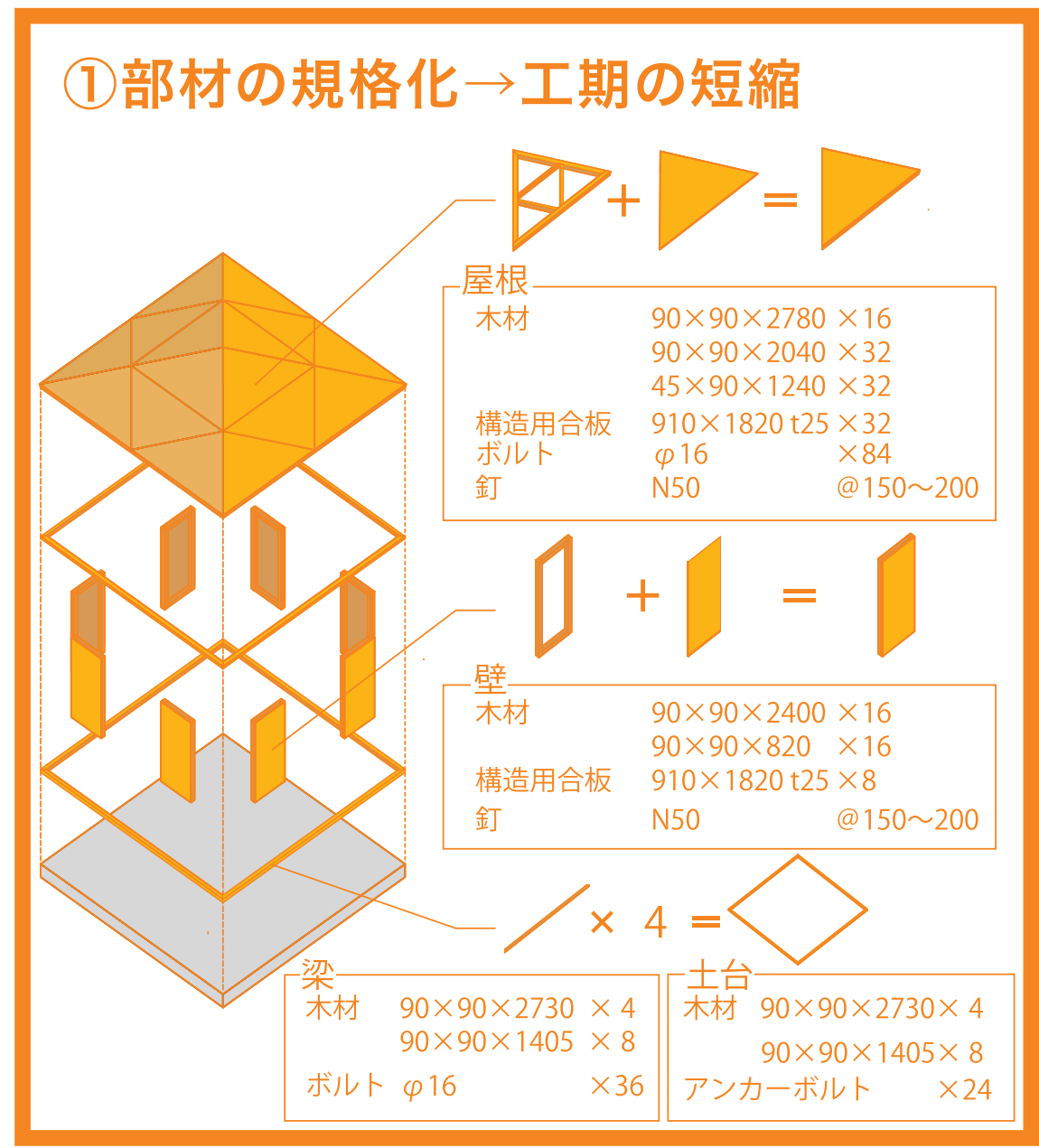
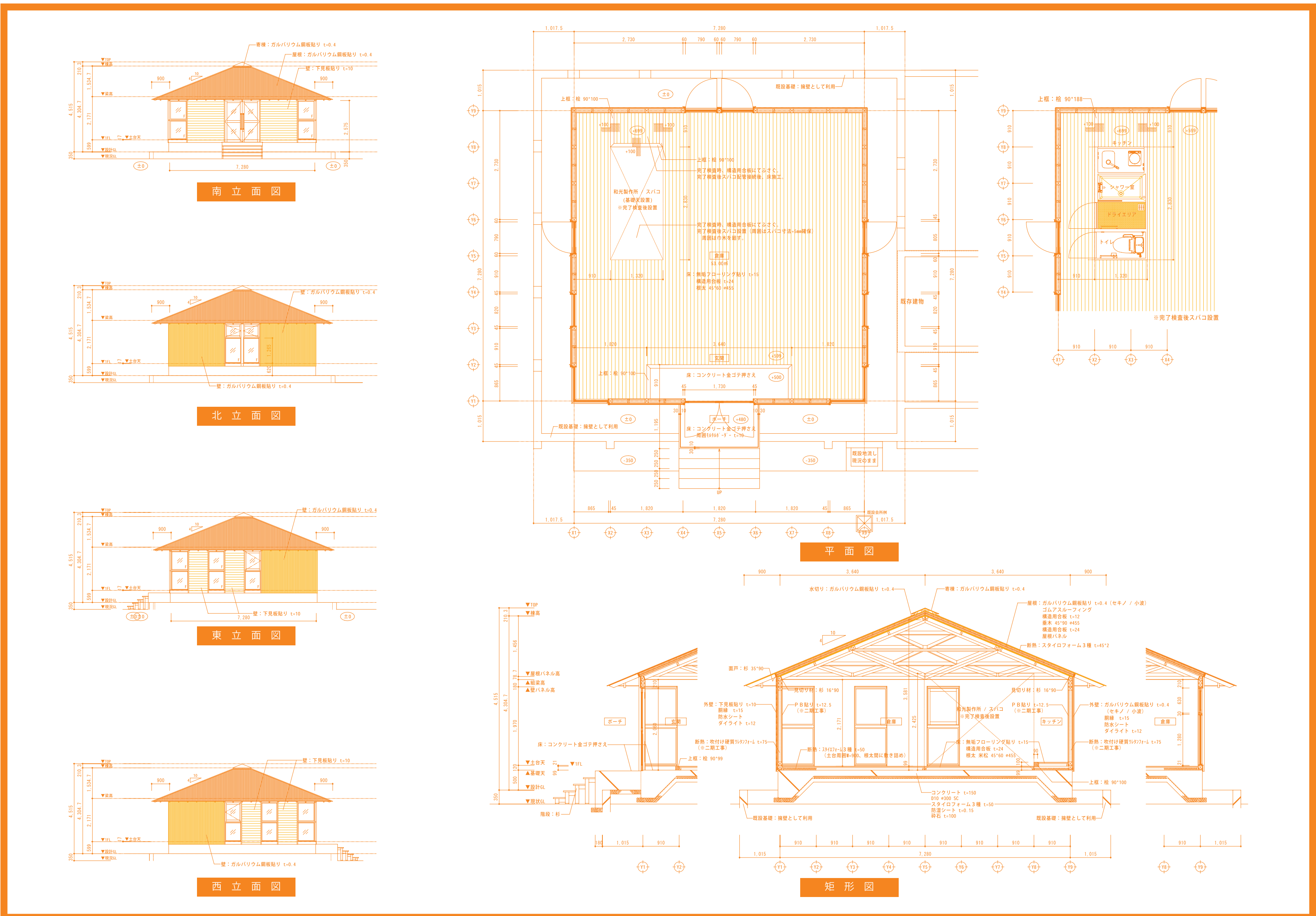


# 個々の想いを紡ぐ集会所

復興支援には個々の地域、集落の状況に応じた対応が必要です。個々への対応が、全体へと広がるような流れも必要かと何度か被災地に通って感じています。小さな16間ユニットの計画ではありますが、多くの人々の協力で震災後9ヶ月目にして実現するに至りました。地元を森を育てると同時に、その際の間伐材を利用し地元の人々で「ココノマ」が展開されていくことを期待し、また我々も協力をし続けていきたいと考えています。

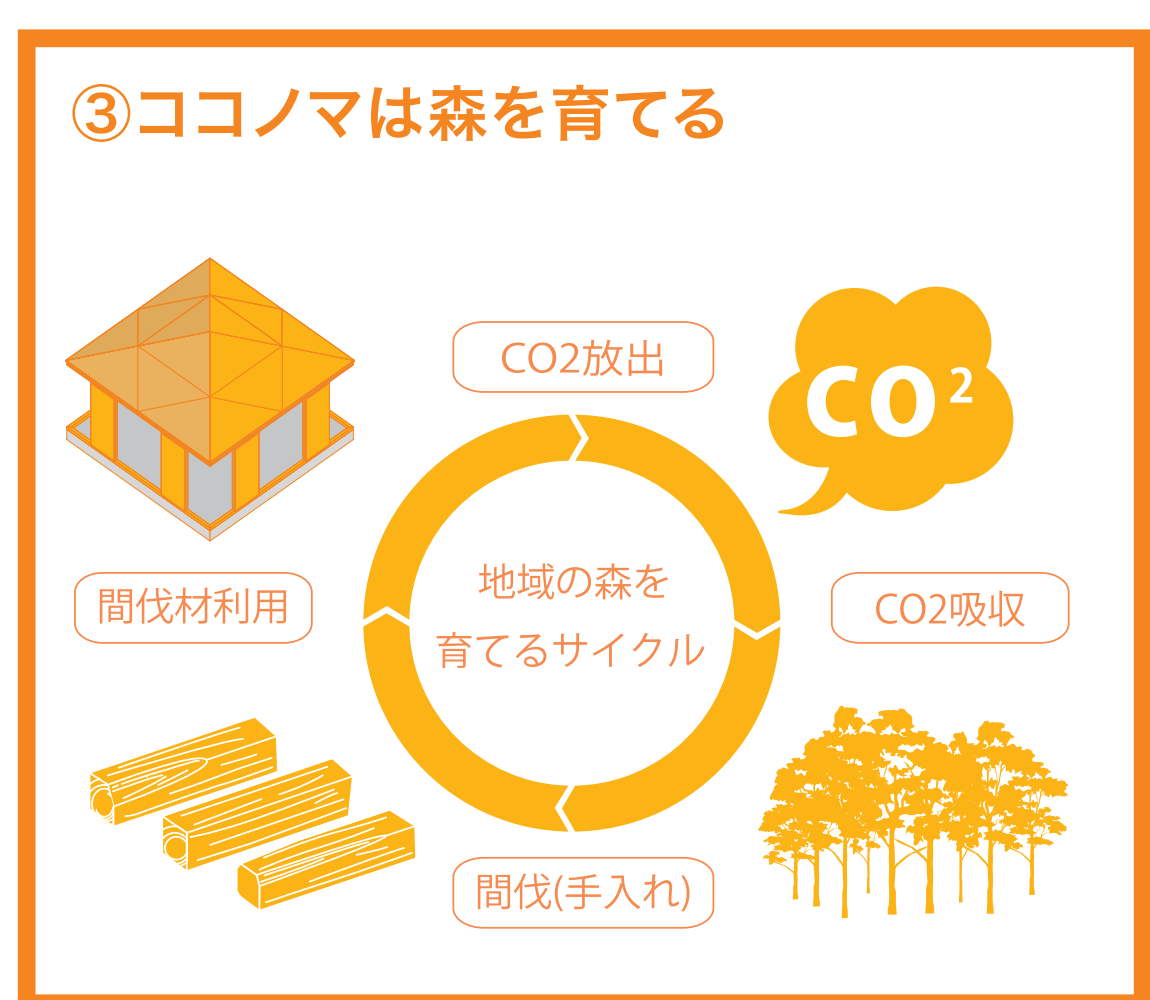
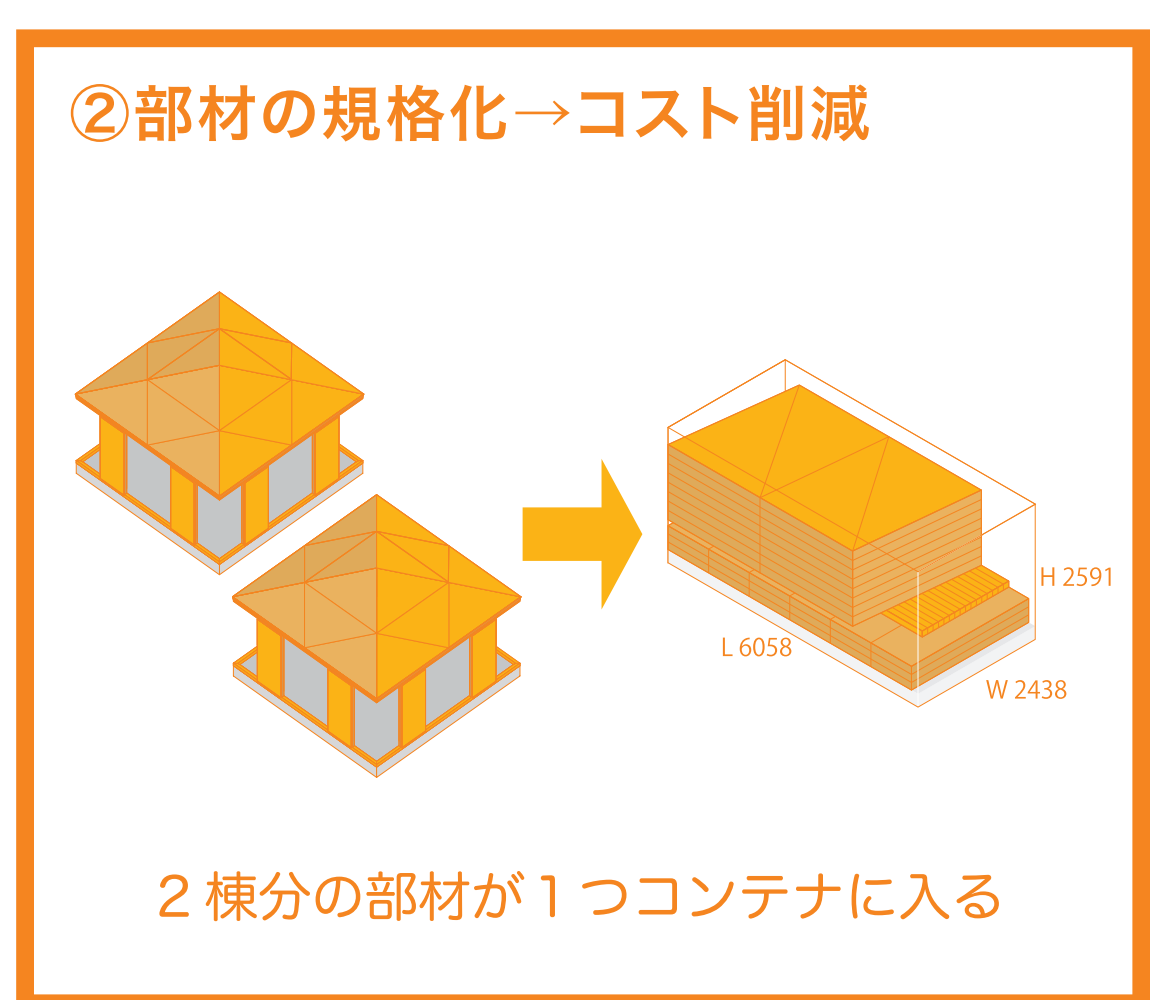
# LIGHT HOUSE PROJECT 2011

滋賀県立大学 環境科学部 松岡拓公雄研究室 + NPO エコ村ネットワーク



## ココノマとは

「ココノマ」は株式会社梅沢建築構造研究所、株式会社地球の芽、甲賀市信楽森林組合が協力のもと開発された、小径間伐材の有効利用を可能にした木造建築ユニットです。内部空間やコーナーに柱が無いので、空間に一体感と開放感をもたらしています。「ココノマ」は3つの特長を持っています。



# 人と森と海をつなぐココノマ

震災直後から集落再生につなぐための構造体と考  
え、この「ココノマ」をまずは仮設住宅に使えないも  
のか思案し、滋賀県にも問いかけてきました。しか  
し、当初は人的、物資支援を優先的に進める状況下  
で、また合板の供給もままならず、動けない事態とな  
り、現地視察を重ねるしかありませんでした。舞根地  
区にて、実現の可能性を得、この機に地元の要望に  
応えて「ココノマ」を一回り大きくした4間角の16坪  
ある「16間」を新たに計画し、本設とすることができ  
ました。「被災地のために何か役に立ちたい」という  
尊い気持ちのボランティア活動も、一歩間違えば現地  
では迷惑になりかねないという厳しい現実がある中  
で、私達は受入先にも恵まれたとも言えます。



8/8舞根での会議

8/9模型を使用している会議



支援部隊メンバー

満潮時は、集落一部が水没する



10/14屋根パーツ生産

10/17舞根へ出発



10/18 A 壁施工

B 屋根パーツ搬入組立

C 屋根パーツ搬入組立

10/19 A 屋根施工

B 屋根施工



10/19 A 垂木施工

B 断熱材施工

10/20 A 防水施工



10/21 A 外装仕上げ

B 屋根仕上げ

B 完成

C 完成を祝って餅撒き



11/28 A 二次支援隊

B 「subaco」部材

C 二次隊メンバー



舞根湾全景

D 施工前

E 施工中

F 施工完了

photo by 松岡研究室+プラネットリビング

3	11 20	東北地方 太平洋沖地震発生  被災地訪問	<b>震災直後から支援方法を模索</b>  滋賀のNPO「エコ村ネットワーキング」では、震災直後から被災地に対する住宅地の支援活動の準備を始めました。
4	27 29	被災地訪問	<b>舞根との「森を育てる」という因縁</b>  福島、宮城、岩手を訪ね、気仙沼市舞根地区で「NPO森は海の恋人」と出会いました。彼らは森によって海が活かされる関係を重視しています。我々は琵琶湖のために森を育てるという同じ思想をもつ因縁を感じ、ここで調査活動に入りました。
5	28 29	被災地訪問	<b>現地視察、厳しい現状</b>  舞根地区は震災で地盤が50cm~100cmも沈下し、大津波によって52軒あった集落は44軒が流され4名の尊い命が失われました。その家の方々は今も離れた仮設住宅での生活を余儀なくされています。
6			<b>具体的な調査開始</b>  舞根との交流が始まり、高台の住宅建設地などの調査も同時に重ねていきました。
7	18	エコ村 ネットワーキング 総会開催	<b>住民の想い「集会所を復興拠点に」</b>  この地区は、集団移転促進事業にいち早く手をあげたことでも知られていますが、戻りたいという気持ちの方も多く、仲間どうし復興を話し合う場が求められていたが肝心の集会所も流されていました。
8	27 28	現地で施設計画 「ココノマ」の合意	<b>本格的に支援の準備開始</b>  集会所を再建し復興拠点にしたいという要望を聞き、敷地が確定しました。これを契機としてNPOエコ村ネットワーキングは舞根の支援活動実施を決定、ボランティアの「舞根支援グループ」の結成を呼びかけ、「ココノマ」を応用した建築を提案することになります。
9			<b>滋賀の材で集会所を</b>  話し合いの結果、被災地である現地では、建材他の調達は容易ではないことから、すべてを滋賀県から運ぶことになりました。屋根や壁の基本ユニットを滋賀県産材の集中する信楽森林組合の工場で作成し、大型トラック4台、工事車両5台で輸送しました。
10	11 13 17 18 24	ココノマキット 製作スタート  建築確認取得  第1期支援 グループ出発  「ココノマ」建設 着工  「ココノマ」建設 竣工	<b>一次支援部隊出発、「16間」躯体完成</b>  屋根や壁の基本ユニットを信楽森林組合の工場で作成し、車両部隊が編成され、1000kmの出動となりました。そして実働工事日数で5日間で集会所は完成しました完成時には地元や被災者の方々が大勢集まり、「餅まき」も行われ滋賀の祝詞も奏上され、多くの感謝の言葉を頂戴しました。
11	27 28	第2期支援 グループ出発 「subaco」 設備キット設置  建築完了検査 &引渡	<b>二次支援部隊、「subaco」設置、集会所完成</b>  「subaco」は京援隊が開発した分解可能な設備ユニットで、施工・運搬が簡単に行えます。2期工事では「subaco」の施工が行われました。